



環境コミュニケーション

- ビジスマッチングやニュービジネスの育成、各種出展・講演などを通して、
- 地域社会の皆さまとの積極的な
- 環境コミュニケーション活動を展開しています。



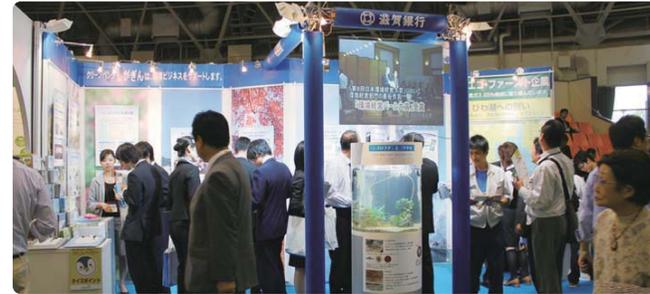
「エコビジスマッチングフェア2011」各ブースでは、商談や情報交換が活発に行われました



環境ビジネス支援をPR 「びわ湖環境ビジネスメッセ 2010」

2010年10月20日～22日の3日間、「びわ湖環境ビジネスメッセ 2010」が開催され、36,580名の来場者が訪れた場内は終日熱気に包まれました。

当行は「環境ビジネス支援」をテーマに、パネルや二ゴロパナの展示を行い、金融機関ならではの環境保全の取り組みについて紹介。来場者アンケートでは、「先進的、先駆的な活動で、とてもユニークな取り組み」、「環境保全の取り組みに感動した」など、力強い激励をいただきました。



ビジネスマンや学生など、ブース内は終日来場者で賑わいました



ニュービジネスの育成を願って 「サタデー起業塾」



「産学官・金（金融）」の連携で、「ニュービジネス」にける起業家精神をサポートする「サタデー起業塾」を、2000年度より毎年開講。昨年までの卒業生はのべ1,577名にのぼります。

今年度は環境分野に加えて、今後、成長が見込まれる「医療・介護・健康」、「観光・地域活性化」に注目し、「グリーン&ライフイノベーション～環境ビジネスのニューステージに注目～」をテーマとして開催いたします。さらに、大学のシーズと企業のニーズをマッチングし、ニュービジネスの育成をめざします。

また、歴代のサタデー起業塾の受講生の中で、実際にニュービジネスに取り組まれた企業や事業者の皆さまを対象に、ニュービジネス奨励金「しがぎん野の花賞」を贈呈しています。



「しがぎん野の花賞」受賞式

エコビジネスパートナー探し場 「エコビジスマッチングフェア」



環境関連の製品や技術・サービスに特化した、当行主催の環境ビジネス商談会「エコビジスマッチングフェア2011」を、6月に開催しました。

本フェアは、当行のネットワークを活用し、「環境に特化した商談と交流の場の提供を通じて、今後の新たな事業展開のサポート」を目的として開催、今年で4回目となります。出展業種も幅広く、新エネルギー・省エネルギー、リサイクル、環境サポート、環境アプリ・フードなど6つのゾーンにわけて紹介。事前の商談対応の充実を図り、参加アンケートや詳細なバイヤー情報などをもとに、可能な限りのマッチングを行いました。また、出展ブースは84社、来場者数2,170名、当日の商談件数は612件にものぼり、各ブースは終日賑わいました。



「エコビジスマッチングフェア」出展企業の声



喜楽鋳業株式会社 代表取締役 小宮山 雅弘

当社の目的は、油系廃棄物を適正に無害化すること、さらにその中で有効利用できるものは徹底的に有効活用していくことにあります。このことは現代社会に必要なことであり、その実行が地球環境保全につながり、世に益することと考えています。当フェアでは、当社の「油系産業廃棄物ゼロエミッションへの取り組み」を展示・説明させていただき、その取り組みと事業内容をご来場された多くの方々に知っていただくことができ感謝しています。昨年、「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」から「低炭素リーダー賞」をいただきました。今後も、地球環境保全という壮大なロマンの実現に向けて邁進してまいります。

環境と金融シンポジウム ～環境と経済の両立を超えて～

2010年12月、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」において、「環境と金融シンポジウム」を環境経営学会と共同開催いたしました。このシンポジウムは、各界の第一人者である専門家を招き、「環境金融」の環を拡げていくことを目的に企画したものです。パネルディスカッションでは、「変わる金融：環境金融（投資）をどう進めるか？」をテーマにこれからの「環境金融」のあり方、未来の金融について、活発な議論が展開されました。



270名の方々にご参加いただき、超満員の開催となりました

「しがぎん野の花賞」受賞者の声



日本ポリスター株式会社 代表取締役社長 高井 文彦

永久磁石の磁場を活用して熱を起し、水を加温する磁気給湯器は、二酸化炭素を排出しない環境に優しいシステムです。この開発は、物づくりを通じて環境に、社会に、人に優しい役立つモノを作りたいとの思いからでした。昨年10月にびわ湖環境ビジネスメッセで出品後、本年2月に「しがぎん野の花賞」をいただいたことは弊社に大きな自信となり、大変感謝いたしております。まずは、皆さまへの認知度UPをめざし、この技術と製品をさまざまな用途への応用に努めてまいりたいと思っております。